



# 青少年教育センター だより

〒857-0056 佐世保市平瀬町 3 番地 1 Tel 22-0781



今年もどうぞ  
よろしくお願いたします。

令和3年1月号 No.501号

## ◇現場補導(愛のひと声)状況報告書より



1 1月の各地区補導委員連絡協議会における一般・学校補導委員の報告内容を紹介します。

- ・一車線道路に男性4人が携帯アプリ【ポケモン Go】をするために、広がっていた。危険であるので、気をつけるよう声を掛けました。(早岐補連)
- ・体育文化館横の五差路前で、下校中の男女児童に声を掛けました。中には勢いよく走ってきて車道に飛び出していた子がいたので、注意をしました。(祇園補連)
- ・コマダ珈琲店付近の国道の横断歩道ではないところを横断した児童がいたということで、児童全体に交通ルール等の指導を実施しました。(山澄補連)
- ・自転車に乗る児童にヘルメットをきちんと被るように声を掛けました。(祇園補連)
- ・佐世保公園の交流広場(スケートボードエリア)には、多くの子どもがいました。照明設備がないので、防犯の面からも照明設備があれば良いと思いました。(光海補連)
- ・中学生の無灯火自転車がいて、止めようとしたがそのまま走り去っていきました。車が来ていたら事故の可能性があり、危険でした。(相浦補連)
- ・MR 大学駅から自転車で帰宅する高校生3名に無灯火での運転について注意をしました。この付近の高校生の通学自転車は、ほとんどが無灯火で危険です。(相浦補連)
- ・バイクでの爆音を立てる様子が見られます。(日宇補連)
- ・若竹台で火災が発生していた。これから火事が増えることが予想されるので注意してほしいです。(早岐補連)
- ・十郎から轟に出る階段に猪の出没があり、通学路を変更しました。(福石補連)
- ・猿の目撃情報があります。また、下校時間に猪がいて注意をしました。(愛宕補連)

## ◇青少年教育センター少年補導委員補導状況(11月実施分)

【補導回数】 111回 (昨年131回)  
 【補導状況(愛のひと声)】 543件 (昨年506件)  
 【補導従事者延人数】 328名 (昨年386名)



## ◇2月の地区別補導委員連絡協議会



地区名	開催日	地区名	開催日	地区名	開催日
早岐	4日	清水	2日	大野	2日
日宇	4日	光海・愛宕	1日	吉井・世知原	4日(吉)
福石・山澄	2日	相浦	2日	小佐々	4日
祇園	2日	中里	1日	江迎・鹿町	2日

## ◇令和2年度立入調査報告

毎年11月内閣府主唱により、すべての子供・若者が健やかに成長し、全ての若者が自立・活躍できる社会を実現することを目標とした「子供・若者育成支援協調月間」を受け、市内36店舗の立入調査を実施しました。これで今年度は、合計240店舗の立入調査を実施しました。書店やコンビニ等では、18歳未満の少年に販売や見せてはならない有害図書に類似するものへの注意喚起を多く行いました。また、兵庫県宝塚市で6月に家族ら4人が洋弓銃ボーガン（クロスボウ）で殺傷された事件を受け、有害がん具に指定されたクロスボウを18歳未満の少年に販売していないか重点的に調査しましたが良好でした。関係店舗の方々、ご協力ありがとうございました。

令和2年 立入調査実施店舗数

業種	調査	業種	調査	
書店等	17	映画館	1	
コンビニ	109	インターネットカフェ	2	
カラオケ	11	ホームセンター	10	
ビデオ店	6	がん具・模型店	5	
携帯電話販売	48	刃物・雑貨店	5	
ゲームセンター等	7	薬局	26	
			合計	240

## ◇あすなろ教室第2回教室公開で、「お茶の淹れ方教室」を開催しました。

11月19日(木)に、白石製茶と前田製茶から講師をお招きして、「お茶の淹れ方教室」と題して、あすなろ教室第2回教室公開を行いました。これは、長崎県茶業振興協議会と県農産園芸課が連携して、県産茶を提供し、その美味しさや効能等を周知することや、家族団らんの時間を創出するといったねらいで、県内小中学生を訪れている取組です。十数名いる通級生一人ひとりに急須と湯呑が渡され、一番茶、二番煎じ茶の美味しいお茶の注ぎ方やその理由について詳しく説明されながら、実演してくださいました。普段飲むお茶との味の違いに、通級生は一喜一憂しながら、何杯も飲み比べていました。その様子を、保護者の方や学校の先生方が、微笑ましく参観されました。貴重な機会を提供してくださった白石・前田製茶の方々、佐世保市農業畜産課の前田さん、ありがとうございました。



## ◇あすなろ教室で、「調理実習」を行いました。

12月3日(木)に、あすなろ教室調理室で、「調理実習～カップケーキ作り～」を行いました。三角巾、マスク、エプロン姿を身にまとった通級生が、3班に分かれて材料を計量して下地を作ったり、それをカップに注ぎオーブンで焼いたりしました。作業の際は、互いにコミュニケーションを図らなければならない、自分の思いを伝えたり、他の思いをくみ取ったりしなければなりません。小学校4年生から中学校3年生の幅広い年齢層で活動した今回の調理実習では、率先して準備を手伝ってくれた生徒がいたり、年下の通級生によく声をかけてくれる通級生がいたり、みんな協力して活動する様子が見られ、嬉しく思いました。



「あすなろ教室」とは・・・ 心理的・情緒的・あるいは社会的要因・背景による不登校児童生徒やその保護者に対して、教育相談や個別・小集団活動を通して支援を行いながら、社会的自立を果たすことをめざして、学校への登校を再開するための支援をする、本市教育委員会が開設した【学校適応指導教室】という教育機関です。